



議会
だより

2017.11.15
No.67

福岡県宇美町議会



宇美町議会HP
QRコード



ゴールを目指して
原田小学校

見つめようこの百年、うみ出そう次の百年。



2020年には町制施行100周年

- 基金約3億円積立計上 ②
- 平成28年度決算認定 ④
- 一般質問 町政を問う6人が登壇 ⑦
- 常任委員会報告 ⑯

9月
定例会

の積立金を計上

平成29年度一般会計 補正予算(第2号)

2億3,505万円増額し
総額114億8,618万円

(賛成多数で可決)

(万円未満四捨五入)

（町単独事業）
健康管理システム改修業務委託
・選挙システム改修業務委託
・改修業務委託・障害者自立支援
給付支払等システム改修業務委
託



(仮)すみれ乳幼児園予定地

平成29年9月定例会は、4日から20日までの17日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は、人事案4件、和解案1件、条例案1件、予算案4件、決算認定案5件、報告1件で、原案をすべて可決しました。

議員発議1件については、慎重審議を行つた結果、否決となりました。

一般質問では、6議員が7項目について活発な論戦を展開し、町政を質しました。

議員発議1件については、慎重審議を行つた結果、否決となりました。

平成29年9月定例会は、4日から20日までの17日間の会期で開かれました。

基金への積立金

3億1,309万円

財政調整基金

2億4,100万円
農業振興事業費財政基金

1,209万円

庁舎建設等基金

5,000万円

町制施行100周年記念事業基金
1,000万円

電算システム改修
業務委託料

1,387万円増額

法改正等に伴い、宇美町、志免町及び須恵町にて利用している自治体クラウドサービスにおける基幹業務システムを改修する。

（改修内容）
年金システム改修業務委託・
住民基本台帳システム改修業務
委託（マイナンバーカード等旧姓併記）・番号制度データ標準
レイアウト改版に伴うシステム
改修業務委託・障害者自立支援
給付支払等システム改修業務委
託

再配置計画策定 業務委託料

332万円

平成28年度に策定した宇美町公共施設等総合管理計画の基本方針を達成するため、個々の施設の廃止、統合、更新などの方向性を定める。

実施期間は、平成29年10月から31年3月。

保育所等改修費等
支援事業費補助金

1,303万円

国の補助事業を活用して（仮）すみれ乳幼児園を新設する事業者に対し、補助基準に基づき、賃貸物件の改修費の補助を行う。

防災ハンドブック 印刷製本費

446万円

町民が災害発生時に「自分の身は自分で守る」ことができるよう、「災害時に对する備え」、「災害時の行動や情報収集の仕方」などを掲載したハンドブックを作成する。

住民福祉センター
整備工事請負費

35万円増額

住民福祉センター多目的トイレ

の自動ドアから異音が生じているため、モーターやセンサー等の取替工事を行う。

開館10周年記念事業

20万円増額

10月28・29日に開催する宇美町立図書館開館10周年記念イベントの図書館読書まつりの内容を充実させるために、宇美町出身の作家山口幸三郎氏の講演会を実施する。

歴史民俗資料館整備
工事請負費

32万円

歴史民俗資料館入口自動ドアから異音が生じていているため、モーターやセンサー等の取替工事を行う。

財政調整基金等 約3億円

条例

宇美町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止

証明書自動交付機の廃止に伴い、宇美町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止。

附則にて宇美町印鑑条例及び宇美町手数料条例の一部を改正し、経過措置を規定。

(賛成11・反対1で可決)

議員発議

被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

提出者 鳴海 圭矢 議員 時任 裕史 議員

全額国庫負担による被災者生活再建支援制度に係る特例基金を創設することなどを求める。

(賛成4・反対8で否決)

答 **問** **自動交付機の廃止に伴う対応は。**

※夜間窓口 毎月25日(土・日・祝日の場合は翌開序日)午後5時15分～午後8時

平日窓口及び夜間窓口の利用状況等を踏まえ、日曜日の交付窓口の設置について検討を行う。

答 **選挙(議長推薦)**

コンビニでの交付の導入はどうか。

マイナンバーカードの交付状況等を見据え、今後、検討を進める。

■平成29年度補正予算

(万円未満四捨五入)

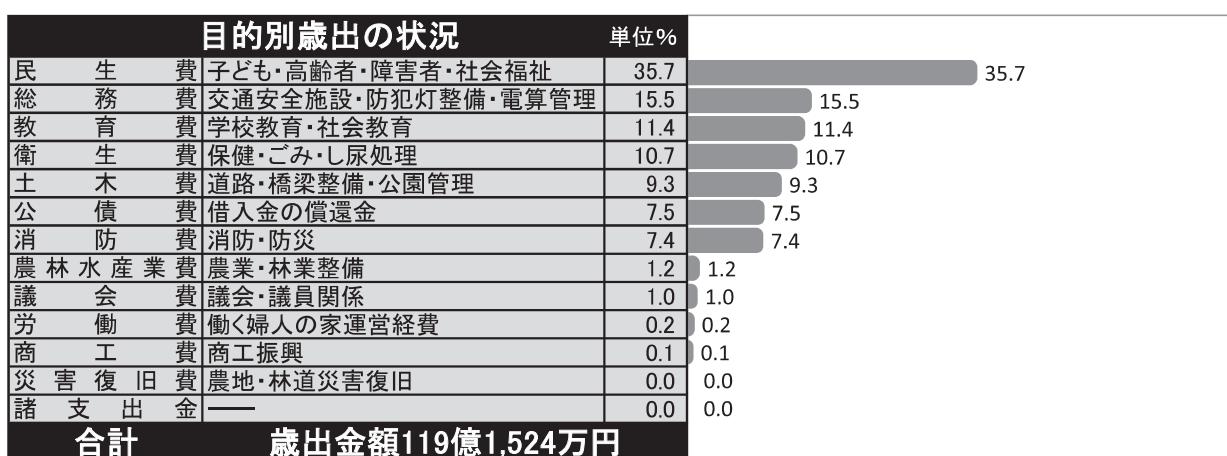
会計名	補正額	補正後の予算	表決結果
一般会計	2億3,505万円	114億8,618万円	賛成11 反対1
国民健康保険	▲3億1,142万円	49億9,061万円	全員賛成
上水道事業	収益的支出	1万円	6億9,566万円
下水道事業	収益的収入	768万円	8億9,192万円
	収益的支出	▲777万円	8億7,803万円
	資本的収入	707万円	6億7,906万円

平成28年度 決算認定!

一般会計は前年度と比較し、歳入で7.4%の増、歳出で8.2%の増となり前年度決算額を上回った。歳入増の要因は、地方債、財産収入、国庫支出金、繰越金の増など。歳出増の要因は、公共施設等総合管理計画策定業務委託、都市計画道路光正寺井野線整備事業、宇美東小学校校舎及び体育館改修工事、防災行政無線デジタル化工事の実施に伴う増など。主に、地方債借入残高が55.4%、依存財源は44.0%、自主財源は55.6億円、基金積立金13万円、地方債借入残高は10億円、基礎金652万円により経常経費削減抑え、今後も健全な財政運営に取り組むよう求めた。

一般会計の分析

(万円未満四捨五入)



本会議 反対討論

無駄をなくし、歳入を増やす努力は必要だが、黒字にするよりも、いかに町民のために使っていくのかを忘れてはいけない。教育、福祉の分野に予算を使つていくべきである。

賛成討論

街路、防災、小学校施設を重視的に整備。また、障がい者の自立支援など福祉の向上、認可保育園、乳幼児園の開園に伴う運営費負担など子育て環境の充実を図られている。

藤木 飛賀貴夫議員

町税が前年度比1.7%増収で大いに評価でき、公平・公正な町税収入確保に向け、職員の地道な努力が感じられる。今後、職員一丸となり経常的経費を抑え、健全な財政運営の推進を期待する。

鳴海圭矢議員

経済が良くなる時は節約、そうでない時には我慢し、努力したことを探査したい。

佐藤議員

平成 28 年度特別会計決算

会計名	歳入総額 歳出総額	収支差引額
宇美町後期高齢者医療	3 億 7,141 万 1,578 円 3 億 5,424 万 4,042 円	1,716 万 7,536 円 黒字
宇美町国民健康保険	48 億 9,514 万 2,863 円 49 億 686 万 4,373 円	▲1,172 万 1,510 円 赤字
宇美町 上水道事業	収益的収入	6 億 9,662 万 9,349 円
	収益的支出	6 億 8,790 万 274 円
	資本的収入	5,463 万 9,747 円
	資本的支出	2 億 8,495 万 6,326 円
宇美町流域 関連公共 下水道事業	収益的収入	8 億 8,991 万 5,852 円
	収益的支出	8 億 9,183 万 3,907 円
	資本的収入	6 億 8,195 万 9,000 円
	資本的支出	8 億 369 万 610 円

本会議 表決一覧

○は賛成 ×は反対を表しています

議員名 議案名	時任 裕史	黒川 悟	南里 正秀	脇田 義政	小林 征男	飛賀 貴夫	鳴海 圭矢	藤野 莞嗣	犬塚 齊	古賀 ひろ子	松下 弘毅	藤木 匠	審議結果	討 論
平成29年9月定例会	宇美町住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度 宇美町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 反対：鳴海議員
	平成28年度 宇美町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成28年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成28年度 宇美町上水道事業会計利益の処分及び決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成28年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成28年度 宇美町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 反対：鳴海議員 賛成：脇田議員 飛賀議員 藤木議員
	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書の提出	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	否決

※白水英至議長に表決権はありません

全会一致で可決した議案

議案名
和解及び損害賠償の額の決定……宇美町・志免町衛生施設組合所有の倉庫入口部分の破損事故 損害賠償の額21万7,080円
平成29年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)……3億1,142万3,000円減額
平成29年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第1号)……収益的支出 9,000円増額
平成29年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)……収益的収入 768万円、資本的収入 707万2,000円増額 収益的支出 776万7,000円減額

あれはどげん なつとりますと？

追跡

定例会で議員が出した一般質問は、まちづくりにどう生かされているのでしょうか。
その後を追います。



学校の教育環境整備にエアコン設置が必要ではないか。



エアコンの使用は、児童生徒の体温調整機能の低下などに課題がある。現在、井野小学校の1教室の窓際にミストシャワーを実験的に設置し、体感温度の調整等の調査研究を行っている。

ミストシャワー設置

※平成29年度新規取付
井 野小学校
(1年1組教室窓及び廊下側付近)

※平成28年度以前取付
井 野小学校 (保健室付近)
宇美東小学校 (北棟昇降口)
桜 原小学校 (校長室付近)



ミストシャワー
(井野小学校保健室付近)



宇美町の小中学校にエアコン設置をした場合の経費は。



他町の例を参考に試算すると小中学校8校で約3億8千万円。



都市計画道路志免宇美線早期事業認可の促進について。



志免宇美線(2期工区)の事業が認可された。今後具体的な協議が行われる。



志免宇美線事業認可区域

一般質問



古賀 ひろ子 議員

問 「女性活躍推進法」を着実に推進し、実行するために、これまでの事業主行動計画を見直し、新たに「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に沿った「宇美町特定事業主行動計画」を策定し、公表している。

答 総務課長 平成28年4月から33年3月までの5年間を計画期間として、「宇美町特定事業主行動計画」を定めた。

職員が性別や世代にとらわれず、どの役職段階においても、次代を担う子どもの誕生と健やかな育成の必要性を理解の上、協力し、共に働く仲間としてお互いに助け合うという意識を持つ。

町職員育成ビジョンは

答 女性職員 活躍の場の拡充

問 「女性活躍推進法」を着実に推進し、実行するために、これまでの事業主行動計画を見直し、新たに「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に沿った「宇美町特定事業主行動計画」を策定し、公表している。

特定事業主行動計画の概要と情報及び実施状況の公表は、

問 人事評価制度の取組と人材育成への活用は。

答 課長 人事評価制度の取組と人材育成への活用は。(下表参照)

また、それぞれの個性と能力を十分に發揮し、仕事と家庭の両立を果たすことができる環境づくりに取り組む。

情報及び実施状況については、ホームページで公表している。

問 宇美町職員の懲戒処分の概要是。

答 課長 町独自の指針を定め、職員による非違行為があつた際に、町長がこの指針及び宇美町職員人事審査会の意見を踏まえ、処分を決定する。

平成28年度について、2件の処分を行い、ホームページで公表している。

問 ストレスチェック制度実施と活用は。

答 課長 労働安全衛生法に基づき、平成28年度から義務づけられ、西日本労働産業会に委託し、実施している。

対象職員は351名で、調査票を提出した割合は93.4%。

内容については、自治体への開示はないが、高ストレスがかっていると答えた34

適材適所の人事配置を行なう。職員研修の充実を図り、職員の実績や努力に応える方向で調整していく。

女性職員の割合	女性管理職の割合	各役職段階の女性職員の割合			女性職員採用の割合	
		課長級	補佐級	係長級		
H28	45%	19%	6%	28%	49%	57%
H29	45%	19%	11%	25%	48%	67%

問 宇美町職員の育成ビジョンは。

答 町長 職員の資質や意欲を生かし、若い職員の育成や女性職員の活躍の場の拡充などに取り組んでいく。

名の職員に対し、産業医との面談の機会を設け、3名の職員がストレス解消につながる指導を受けている。

「全国学力テスト」の結果と課題は

答 学力向上は喫緊の課題



南里 正秀 議員

問 「全国学力・学習状況調査」の結果が公表された。

中学校の状況は、

調査の目的と本町小

答 学校教育課長 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的。

本町小学校は全国及び福岡県平均以下、中学校は国語B以外は全国平均以下。近年の傾向として全体的に下降気味である。

問 学力向上のためには、教員が子どもたちと笑顔で向き合う時間の確保が大事。

「過労死ライン」を超える時間外勤務が問題となっているが、本町教員の実態は。

答 課長 詳細な調査は実施していないが、超過勤務の縮減に向けて、月2回の定時退校

日の完全実施やノーカー活動の実施などに取り組んでいる。

問 児童生徒の健康管理のため、普通教室にエアコンを設置している。

答 教育長 学校は災害時の避難所としての機能も持つている。ミストシャワーや扇風機などの代替え策も含めたエアコン設置の検討は。

野小学校の普通教室の外壁にミストシャワーを設置し、その効果を検証中。

問 子育て世代の方が、宇美町に住みたいと思われる要素のひとつに、学力を含めて自分の子どもが通う学校の状況が判断材料になつていいのではないか。

本町教育機関の最高

責任者として、小中学校の学力低下の現状をどのように捉え、学校現場、特に校長をはじめ管理職を指導されていくのか。

答 教育長 本町の学力向上は喫緊の課題と認識している。管理職には、主体的に対話的な授業の重要性を訴え、学力の向上に結びつけたい。

問 行政のトップであるとともに、小学校長や県教育委員会勤務の経験を持たれ、教育の専門家である町長の見解は。

答 町長 学力向上は喫緊の課題であり、課題解決に向けて、行政、学校現場、家庭が緊密な連携を図り、コミュニケーション等地域の協力もいただき、宇美町版の取組を推進したい。



学力向上推進担当者研修会

一般質問



藤木 匠 議員

産業廃棄物処理業者の障子岳への進出について

答 県と連携の上、指導等を行う

ホクザイ運輸(株)の障子岳への進出について伺いたい。同社は、建設廃材を持ち込み、それをチップ化し、燃料等に加工する工場を建設する計画である。

当町には、水道水源保護条例があるが、協議の中で、その条例の話は出たのか。

答 上下水道課長
今回の申請は、産業廃棄物処理業で、申請者から事前に条例についての内容の確認があつた。

答 上下水道課長
今回の申請は、産業廃棄物処理業で、申請者から事前に条例についての内容の確認があつた。

問 条例を適用しなかつた理由は。

答 課長
条例では、目的として「水道に係る水質汚濁の防止、清浄な水質を確保する」と定めている。

今回の計画内容を確認すると、全ての操業が建屋内で行われ、原燃料、製品化されたチップ等の保管の一切都是、野積みではなく、屋外での貯蔵は行われない。当然、雨水等によつ

問 野積みは一切ないとのことだが、野積みがなされた場合は、協議を再開するのか。

答 課長
これについては、罰則規定は設けたものの、再協議の規定はない。

問 早見～障子岳線の交通量は、片道1日最大99台で、往復になると約200台の事業者車輛が予測され、福岡刑務所の関係車輛を合わせると約450台の車輛が通行することになる。

答 課長
としては、申請内容と異なるので、指導監督は行う。

先し、事業認可を延期できないか。

答 建設都市計画課長
現状の交通量を大きく上回ると考える。

地元説明会において、交通安全に関する意見が多かった。

事業者がそれについて、対応・対策をどうとるかを見ながら、道路管理者として一緒に協議・検討したい。認可の延期等は、県都計画審議会で判断されるため、現時点では、何とも言えない。

朝夕、大型車の行き来が懸念されるが、振動や排気ガス、ほこり等の環境問題は起らぬいか。

答 環境課長
周辺環境に及ぼす影響については、環境基準、道路交通の要請限度を下回る場合、町としても見過こしができず、県と連携の上、指導等を行

う。環境予想が外れ準値等の上限を上回った場合、町としても見過こしができず、県と連携の上、指導等を行



工場建設予定地（障子岳）

自然災害の対策は



黒川 悟 議員

答 災害に強い町を目指していきたい

問 本年7月に発生した九州北部豪雨、当町も平成15年に甚大な豪雨災害があつた。国土の7割が中山間地域であり、大雨が降ると地滑りを起こし、流木が深刻な被害に繋がる自然環境にある。砂防ダムの整備が必要と思うが、現状は。

答 建設都市計画課長

平成15年以降に新たに宇美川に4基、伸山川に2基、後谷川に1基、仲ノ原川に1基、原田小学校裏の砂沢川に1基を設置している。形状は、重力式コンクリートダム、鋼製スリットダムで、昨今発生している豪雨に対しても非常に心強いものになつてている。

問 流木被害を防ぐために、森林の管理及び整備が必要と思うが、現状は。

問 本年7月に発生した荒廃森林再生、森林整備、町有林保育間伐、造林森林整備の4事業と県営治山事業を実施している。

答 農林振興課長

荒廃森林再生、森林整備、町有林保育間伐、造林森林整備の4事業と県営治山事業を実施している。

直す。

防災ハンドブックを配布し、説明会を行い、訓練等の準備を行つていただきたい。

難訓練を実施する。それぞれの果たすべき役割を明確にし、自分の命は自分で守るという日常的な備えや行動の啓発に努め、災害に強い宇美町を今後も目指していただきたい。

問 被災者の援護を総括的及び効果的に実施するための、被災者台帳の整備は。

答 総務課長

整備されていないが、様々な災害が想定される中、台帳整備の必要性は十分承知している。今後、時間をかけて研究したい。

問 地域防災力向上のための取組は。

答 課長

具体的には、業務継続計画、避難所行動支援、要支援者の支援マニュアル、避難所運営マニュアルを盛り込み、最上位である地域防災計画を見

問 今後も心配される自然災害の対策は。

答 町長

区コミュニティ、消防団等と連携を図り、難訓練を実施する。

それとの果たすべき役割を明確にし、自分の命は自分で守るという日常的な備えや行動の啓発に努め、災害に強い宇美町を今後も目指していただきたい。



平成27年度 県営治山事業



脇田 義政 議員

2025年問題への対応は

答 地域包括ケアの推進に取組んでいく

問 団塊の世代が75歳以上になる2025年には、医療、介護費用等が急増する問題に対処するため、国は地域包括ケア構築の義務付けや介護保険法の改正を行つた。

介護保険の保険給付から市町村事業に移行された介護予防・日常生活支援総合事業にして、町が行つてている事業内容、実施状況、移行に伴う利用者への影響、事業者等の担い手の確保、サービスや報酬単価への影響、課題や今後の対応等は。

団塊の世代が75歳以上になると、介護保険の保険給付から市町村事業に移行され、介護予防・日常生活支援総合事業として、町が行つていている事業内容、実施状況、移行に伴う利用者への影響、事業者等の担い手の確保、サービスや報酬単価への影響、課題や今後の対応等は。

答 福祉課長 対象者は、要支援1及び要支援2の認定を受けられた方等。

町では、ホームヘルパーなどが家庭を訪問して調理などを行う訪問サービス、施設で軽い運動などをを行う通所型サービス、栄養改善を目的とした配食サービスの三事業を実施。利用者及び事業者等への説明、協議、調整等を行い、利用者の負担額、利用頻度に変更がないよう移行できました。サービスの担い手は、現状では不足していないが、将来的にはボランティアやNPOなどに高齢者の生活を支えていただくことを期待している。

サービス料の上限額の変更はないので、サービスの利用ができるなくなる、回数が減る、報酬額が変わることはない。

課題は、一人ひとりの介護状態に適したサービスの提供体制や事業メニューがまだ不十分であること。

また、日常生活に密着したサービスが、今までの認識と異なっています。地域包括ケアの構築には、重要な部分が二つある。

答 課長 町内の医療機関の現状では、かかりつけ医による24時間体制、特に夜間緊急対応は難しい状況である。また、24時間体制の訪問看護事業所もない。

この現状はすぐには解決できないので、ボランティアや地域の力を借りられればと考えている。地域包括支援センター「とびうめネット」を活用し、啓発、普及を図り、登録を進めていきたい。

答 課長 町内の医療機関の現状では、かかりつけ医による24時間体制、特に夜間緊急対応は難しい状況である。また、24時間体制の訪問看護事業所もない。

この現状はすぐには解決できないので、ボランティアや地域の力を借りられればと考えている。地域包括支援センター「とびうめネット」を活用し、啓発、普及を図り、登録を進めていきたい。

教員の長時間労働の是正



鳴海 圭矢 議員

答 業務改善 ハンドブック活用

文科省が4月に発表した調査によれば、2016年度の公立中学校の教員の勤務時間が10年前に比べて週当たり4、5時間増えている。

残業が月80時間以上の過労死ラインに達する教員は、小学校で34%、中学校では58%に上る。これは喫緊の課題ではないかと思つ。当町では労働時間の実態調査は行つていないうといふが、労働時間の実態を把握するべきではないか。

長時間労働の原因になつてゐるもの何とか。

答 学校教育課長

今後、ストレスチェック等の結果を踏まえて改善の必要性を感じた折には十分に検討していきたい。

長時間労働の原因になつてゐるもの何とか。
答 課長 公立学校における教職員の超過勤務の縮減に向けた業務改善ハンドブックを活用している。具体的には、月2回の定時退校日の中学校における教職員の超過勤務の縮減に向けた業務改善ハンドブックを活用している。具体的には、月2回の定時退校日の完全実施、あるいは中学校におけるノルマ活用デーの実施など8項目が示されているが、おおむね実施ができている。

教員不足が深刻であるといわれるが当町での状況はどうなつてゐるのか。

教員不足が深刻であるといわれるが当町での状況はどうなつてゐるのか。
答 課長 本年度も、中学校の教員免許を持つ方に対する方針を実現するため、支援員や相談員等の配置を行つて、各学校では、会議や研修をスリム化したり、早い時間帯での退庁を促したりしている。

職員室の様子

本年度の初めに小学校1校で担任外の講師1名と指導方法工夫改善に関する講師1名が不足していたが、現在はともに配置できている。文部科学省では、「働き方改革」について検討が進められている。今後、動向に注視しながら、学校現場の業務の適正化に向けて研究していく。

◆国保の広域化でどうなるのか
その他の質問



職員室の様子

教員不足が深刻であるといわれるが当町での状況はどうなつてゐるのか。

教員不足が深刻であるといわれるが当町での状況はどうなつてゐるのか。
答 教育長 教員の勤務時間を少しでも緩和し、業務の適正化を図るために、支援員の配置を行つて、各学校では、会議や研修をスリム化したり、早い時間帯での退庁を促したりしている。

総務建設常任委員会

県内 58件、県外 74件、計
139件となっている。

返礼品は現在 25事業者、

101品。主に醤油、お茶、
肉が上位に入っている。

184万8,208円。

委託料などの費用は

委員長	藤野	義政	莞嗣
副委員長	脇田	征男	
委員員員員員員員員	小林	黒川	鴻海
時任	征史	圭矢	悟史

財産活用課

宇美町公共施設再配置計画 策定業務

宇美町公共施設等総合管理
計画の全体方針を達成するた
めに、平成30年度までに策定
する。

29年度は、各種資料、デー
タの収集整理。

また、住民アンケートを実
施。次に、建築性能、利用・
運営状況等について、施設分
析評価を行う。

30年度は、地域の特性に応
じた立地性能評価として、交
通の利便性や安全性、人口の
集積の程度、法規制の指定状
況など立地する周辺環境の評

4 8 2 万 6,
9 7 5 円。

リニューアル後（10月～3月）
が 1 3 7 件、4 8 0 万 4,

9 7 5 円。合計 1 3 9 件、

ふるさと宇美町応援寄附金 まちづくり課

ふるさと応援寄附金



施設等総合管理計画の調査や、
建物性能については、公共
の調査時点で、性能や経年の
2面から数字を基に整理する。

問 建物の性能、利用運用 で評価するのか。

現在の利用状況につい
ては、各課で、各施設
ごとに調査を行う。

答 現在の利用状況につい
ては、各課で、各施設
ごとに調査を行う。

29年度は、600万円を見
込んでいるが、それを上
回る努力をしたい。

答 将来の寄附金の見込み
は。

29年度は600万円を見
込んでいるが、それを上
回る努力をしたい。

問 ホームページのアクセス 数は。

答 6,307件のアクセス
があった。

問 試験栽培は順調に進
んでいるのか。
答 順調に進んでいる。

また、商品になつた場合出
荷されるのか。

答 現在は、試験的な取り
組みであり、収穫量や
出荷時期等については現段階

農林振興課

では把握できない。
製品化を目指したい。

薬用作物試験栽培

13

厚生文教常任委員会



めばえ保育園（井野）

委員長 飛賀 貴夫
副委員長 犬塚 齊
委員 松下 弘毅
委員 藤木 匠
委員 南里 正秀
委員 古賀ひろ子

子育て支援課

保育所の整備状況

①めばえ保育園（認可保育所）
定員40人）平成29年7月21日

可保育所定員50人）平成30年4月1日に開所予定。
②四王寺坂ひかり保育園（認定園）
空とぶくじら幼稚園（認定園）
こども園定員50人から110人に増員）平成30年4月1日

④仮称おむすび（小規模保育施設定員19人）宇美町貴船二丁目、平成30年4月1日に開所予定。
⑤仮称すみれ乳幼児園（小規模保育施設定員19人）宇美町光正寺一丁目、平成30年4月1日に開所予定。

民生委員制度創設100周年記念式典・講演会

福祉課

現時点では、認可保育所等での受入れの実績はない。町立4保育園中、3園に看護師を配置。看護師のスキルアップや施設の整備など難しい状況である。

答 現時点では、認可保育所等での受入れの実績はない。町立4保育園中、3園に看護師を配置。看護師のスキルアップや施設の整備など難しい状況である。

問 医療的ケア児の受け入れの対応は。

理事、光岡眞理氏の講演。
社会教育課

図書館開館10周年記念事業

平成29年7月8日、リオデメドリスト道下美里氏を講師に迎え、講演会を開催、参加者は280名。

平成29年10月28・29日、町立図書館開館10周年を祝う記念行事を開催。

記念講演の講師に宇美町出身、井野小学校卒業生で作家の「山口幸三郎」氏を招へい。

平成29年10月17日開催。民生委員・児童委員の制度は、大正6年に岡山県に設置された済世顧問制度がはじまりで、平成29年に100周年となる。式典及び講演会の目的は、本町の民生委員・児童委員活動を広く周知するとともに活動の充実の好機と捉え気運の醸成を図る。

図書館開館10周年記念事業

環境課

7年以内に公共下水道が整備される見込みがない地域に町単費で実施している補助制度を平成29年度限りで廃止。

また、公共下水道への接続が困難な地域への現行の補助金額を2分の1とする。

合併処理浄化槽補助の縮小



山口幸三郎ブックコーナー

答 7年以内に整備される見込みのない地域は、住民に責任はないのに切り捨てることになるのでは。

問 7年以内に整備される見込みのない地域は、住民に責任はないのに切り捨てる事になるのでは。

近隣自治体で単費での補助を実施しているところはなく、行財政改革の一環として見直した。

宇美町人権問題啓発講演会の報告

歴史・文化調査研究特別委員会

委員長 南里 正秀

副委員長 藤木 匠

門前町サミットに参加。

第2回（平成27年9月12日）
糟屋地区文化財講演会

宇美町立中央公民館で開催された講演会「～かすやの発掘最前線～」に参加。



文化財講演会

第4回（平成28年2月27日）
「大城（大野城）の謎に迫る！」

九州国立博物館で開催されたシンポジウムに参加。

第5回（平成28年3月20日）
糟屋地区文化財講演会

アクロス福岡で開催された講演会「～かすやとアジア～」に参加。

第6回（平成28年10月19日）
宇美八幡宮の歴史学習

講師に当町職員の学芸員を招き、宇美八幡宮の歴史について講話を聞くとともに、現地を視察。

第7回（平成29年2月10日）
光正寺古墳・萬代（小林酒造本店）の歴史学習

当町職員の学芸員を招き、光正寺古墳の歴史について説明を受けたのち、萬代の酒蔵を見学。

東西別院を有する大分県宇佐市で開催された「第13回全国

1350年事業への理解を深めるため、福岡県文化財保護課職員から大野城跡の概要及び増長天礎石群整備事業の説明を受けたのち、増長天礎石群（水城口城門～26番札所～毘沙門堂）を視察。

宇美八幡宮を有する宇美町は、門前町にも数えられており、同様の自治体の活動状況を調査する目的で、宇佐神宮、



都農神社



都農町視察

第8回（平成29年8月4日）
宮崎県都農町視察

宇美町と同じ2020年に町制100周年を迎える都農町は、都農神社を有する門前町であり、共通点が多いため、まちづくりの研修も兼ねて視察。

第9回（平成29年8月28日）
障子岳地区遺跡視察

当町職員の学芸員を招き、障子岳地区に残る遺跡について説明を受けるとともに、現地を視察。

第10回（平成29年10月13日）
「全国門前町サミット」

宮地嶽神社を有する福岡県福津市で開催された「第15回全国門前町サミット」に参加。



門前町サミット 福津市



議会広報から

インタビュー

議会広報委員会が ふるさとの山を歩く



ヒヨドリバナ

サルトリイバラ

アキノキリンソウ

大野城(四王寺山) ウォーキング

10月21日(土)、四王寺県民の森協議会主催のウォーキングに参加し、太宰府展望コースを歩きました。

「大野城」は、7世紀に唐・新羅連合軍の来襲に備え築かれた朝鮮式山城で、周囲8kmに及ぶ土塁で築かれており、その約8割が宇美町にあります。

センターを起点に建物跡の村上礎石群、焼米ヶ原・尾花礎石群へ。土塁を南へ少し下つて、四王寺集落と太宰府天満宮を結ぶ生王城門跡を見学。建物跡の増長天礎石群から観世音寺口城門を巡り、センターへ。太宰府市の学芸員による説明に聞き入りながら、歴史とマシンを感じた2時間の山歩きでした。途中には秋の山野草も咲いていました。

町内の方からは、「はじめて親子で参加しましたが、おにぎりや豚汁のふるまいもあり、楽しい時間を過ごせました」との感想が聞くことができました。

[発行責任者]

議長
白古

副委員長
黒飛南脇鳴

委員長
川賀里田賀水

委員
委員
委員
委員
委員
委員

員長
黒飛南脇鳴

員長
川賀里田賀水
貴正義圭ひろ子
悟夫秀政矢至

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）に定例議会が開かれます。

役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次の定例議会は、12月1日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局（TEL092-934-2248）までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp